新産業立国へ
世界とつながる産学融合拠点
Toward a Global Academic-Industrial Nexus

共催/Co-Organizers
キヤノングローバル戦略研究所/Canon Institute for Global Studies (CIGS)
大阪大学産業科学研究所/Institute of Scientific and Industrial Research (SANKEN), University of Osaka

2026年11月13日/November 13, 2026
日本工業倶楽部/Industrial Club of Japan
東京都千代田区/Chiyoda-ku, Tokyo

Introduction

一般財団法人キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹 栗原潤/
Jun KURIHARA, Research Director, Canon Institute for Global Studies (CIGS)
Kurihara.Jun@gmail.com; jun.kurihara@sanken.osaka-u.ac.jp

新産業国家へ

世界とつながる産学融合拠点: Toward a Global Academic-Industrial Nexus

はじめに

本シンポジウムの目的

日本の課題は、技術を生み出す力そのものではなく、それを産業・社会の強靭化に転換する「仕組み」である。「産業科学」を標榜する大阪大学産業科学研究所が取り組む重点領域 (先制医療、蓄電池、半導体量子、粒子加速) 及び国際標準化イニシアチブを通じ、科学技術を経済社会基盤につなぎ、新産業を創り出す道筋を示す。

本日の概要

1. 新産業立国の設計図—産研を結節拠点として

大阪大学産研: 産学融合化の一拠点、国際ネットワークの一つの結節点に

2. 産業・社会の強靭化

人を守り(先制医療)、地球を守り(蓄電池)、社会を賢くし(半導体量子)、産業を強くする(粒子加速)

3. 新たに始動した国際標準化イニシアチブ

2026年8月設立: 戦略的国際標準化によるグローバル社会実装推進

国際的標準化機関・海外研究機関と連携して、人材育成プログラムを開発・実践

4. 全体質疑・意見交換

新産業国家へ

世界とつながる産学融合拠点: Toward a Global Academic-Industrial Nexus

本日のプログラム (発言者: 敬称略)

14:00-14:10: 開会の挨拶
尾上 孝雄　大阪大学 理事・副学長

14:05-14:10: 開会の挨拶
福井 俊彦　キヤノングローバル戦略研究所 理事長

14:10-14:15:「シンポジウムの構成説明」
栗原 潤　キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹・大阪大学産業科学研究所 戦略室客員教授

14:15-14:25:「新産業立国の設計図—産研を結節点として」
永井 健治　大阪大学産業科学研究所 所長・教授

14:25-14:40:「人を守る: 先制医療」
谷口 正雄　大阪大学産業科学研究所 副所長・教授

14:40-14:55:「地球を守る: 液体材料科学による蓄電池革新」
山田 裕貴　大阪大学産業科学研究所 副所長・教授

14:55-15:15:　休憩

15:15-15:30:「社会を賢くする: 半導体量子のチカラ」
大岩 顕　大阪大学産業科学研究所 副所長・教授

15:30-15:45:「産業を強くする: 光で粒子を加速する—先端科学から産業基盤へ」
細貝 知直　大阪大学産業科学研究所 教授

15:45-15:55:「新たなる国際標準化戦略—産研国際標準化イニシアチブの始動」
小倉 基次　大阪大学産業科学研究所 戦略室 特任教授

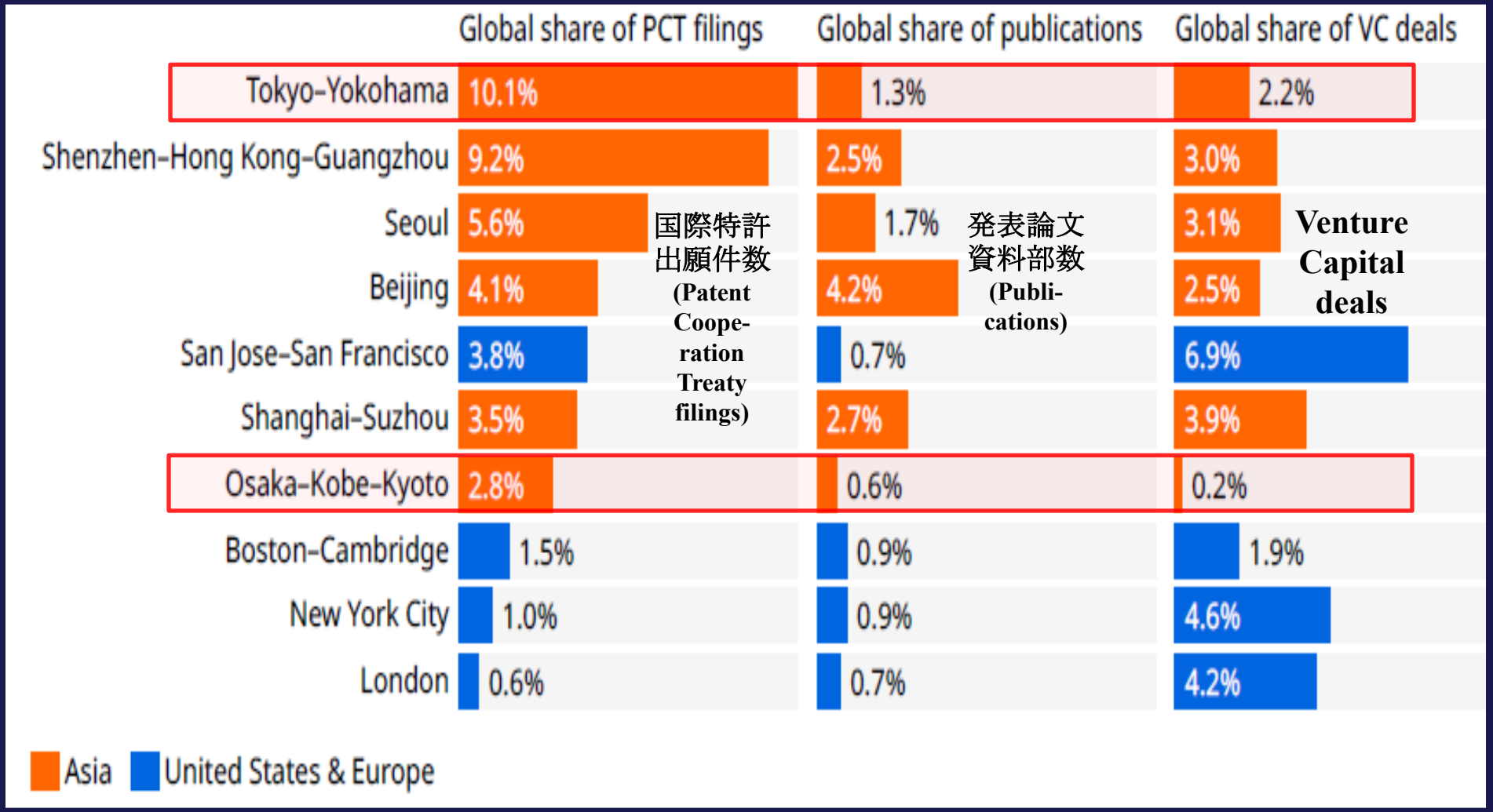
15:55-16:15: 質疑応答・ディスカッション

16:15-16:20: 閉会の辞
栗原 潤　キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹・大阪大学産業科学研究所 戦略室客員教授

16:20-17:00: 歓談会 (会場は18:00に閉鎖)
会場及びホールでの関係者との歓談・名刺交換

特許、論文、ベンチャーキャピタルに関する世界シェア

産業集積地: 特許で日本は世界のNo.1(関東)とNo.7(関西)。だが、論文発表・ビジネスでは影が薄い。
技術開発と経済活動との懸け橋となる「仕組み(制度・組織)」が重要!!



Source: World Intellectual Property Organization (WIPO), "Global Innovation Index 2026: Powering Entrepreneurs at the Front of Science," Geneva, September 29, 2026, p. 85.